

経営統合に向けた協議開始について

2015年3月10日(火)

あなたと、コンビに、

FamilyMart

株式会社ファミリーマート

代表取締役社長

中山 勇



U G H D

ユニーグループ・ホールディングス株式会社

代表取締役社長

佐古 則男

事業環境

国内小売事業

- 総人口の減少による市場規模の縮小
- CVSの出店競争
- 異業態との競争激化
- 利便性や差別化された商品を志向する消費者の増加
- 新たな発想による事業機会の発生

海外小売事業

- 日本で発展したCVS業態の着実な浸透

両社の経営資源を結集し、新たな小売グループを形成することが必要

経営統合の意義

両社の経営資源を結集し、お客様、フランチャイズ・オーナー、お取引先、株主、従業員に貢献できる企業となる

CVS事業

- 国内最大規模の店舗網
- 商品調達力の強化
- 商品開発部隊の強化
- 物流センター等のインフラや情報システム等の共通機能の集約

総合小売事業

- 東海・関東圏を中心とした事業拡大
- CVS事業の調達力・サービスの活用
- 新しい店舗フォーマットの開発
- イーコマースの協業

金融サービス・カード、専門店、ネット通販・イーコマース、医療・介護、チケット・エンタメ、食品宅配、食品製造等

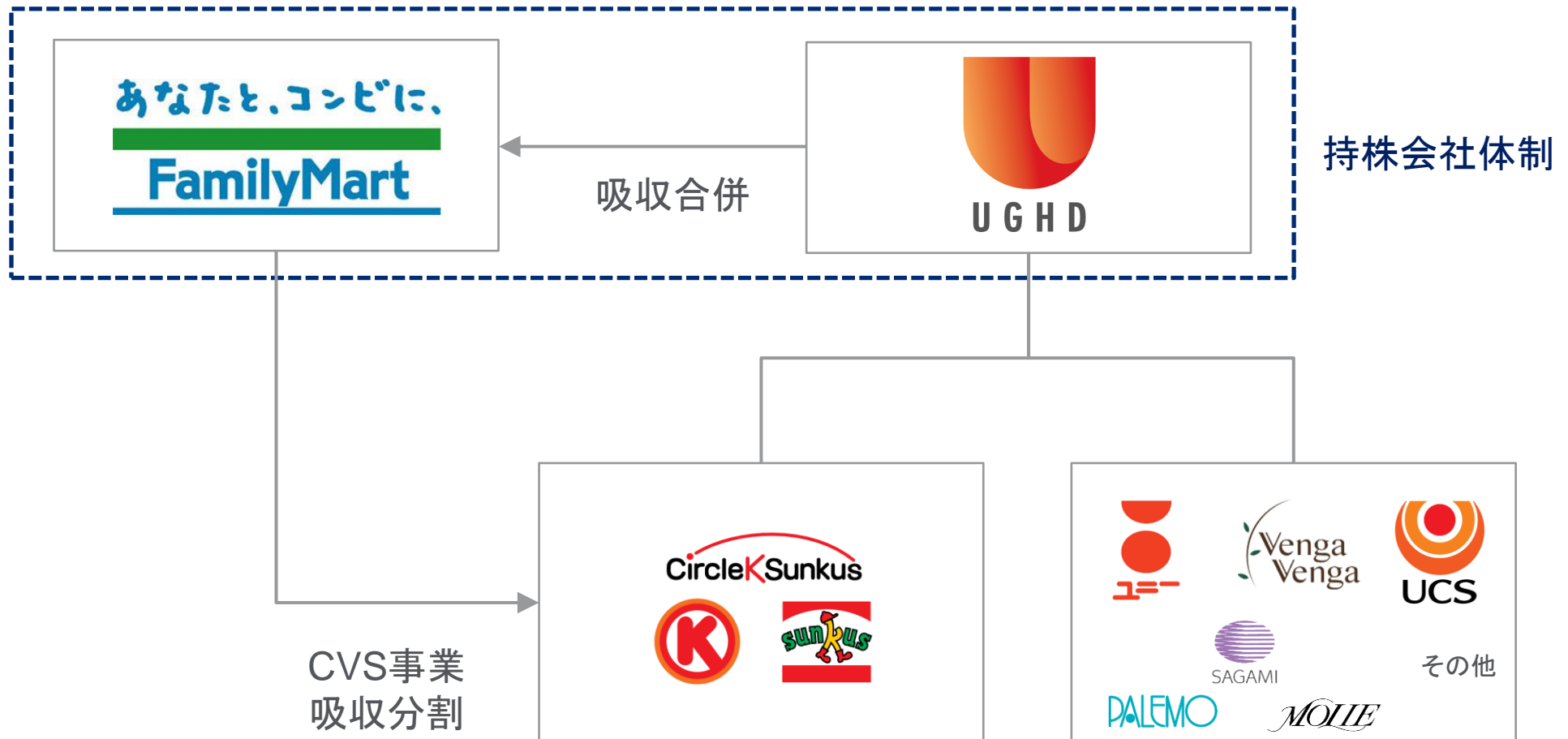
- より大きなグループ経営資源を投入して、グループとしての更なる事業基盤の活用、価値最大化

統合に向けた検討

- 対等の精神での経営統合
- 両社長を共同委員長とする「統合検討委員会」の設置
- 主要検討事項
 - 企業理念
 - 新会社・グループの社名、ブランドの取り扱い
 - 取締役会の構成、経営陣
 - 組織・人事体制
 - 各事業の事業方針・計画

統合ストラクチャー

- ファミリーマートとユニーグループHDが合併し、持株会社化
- CVS事業はファミリーマートとCKSが統合。CVS事業のブランドは一本化を軸に検討
- 合併比率を含めた詳細は、デュー・ディリジェンスを踏まえ今後専門家を交えて検討



日程(予定)

取締役会決議 2015年3月10日(本日)

覚書締結 2015年3月10日(本日)

基本合意書締結 2015年8月(予定)

吸収合併契約・吸収分割契約締結 2016年4月(予定)

吸収合併契約・吸収分割契約承認
両社定時株主総会開催 2016年5月(予定)

吸収合併・吸収分割効力発生日
経営統合 2016年9月(予定)

(参考) 売上高約3.5兆円の小売グループが誕生

		ファミリーマート	ユニー グループHD	合計
連結	全店売上高	17,219億円	18,342億円	35,562億円
	営業利益	433億円	253億円	686億円
CVS	全店売上高	17,219億円	9,506億円	26,725億円
	営業利益	433億円	109億円	542億円
	国内店舗数	11,271店	6,328店	17,599店
	海外店舗数	5,625店	1,043店	6,668店
GMS / SM	売上高	- 億円	7,999億円	7,999億円
	営業利益	- 億円	122億円	122億円
	国内店舗数	- 店	318店	318店
	海外店舗数	- 店	4店	4店

注: 経営数値: 2014年2月期

店舗数: 2015年1月末。ユニーグループHDのCVS海外店舗数: 2014年10月末(サークルKアジア傘下店舗数)

(参考)両社の事業領域

あなたと、コンビニに、

FamilyMart

コンビニエンスストア(CVS)

あなたと、コンビニに、

FamilyMart

クレジットカード

宅配配食サービス

EC関連



UGHD

総合小売

コンビニエンスストア(CVS)



専門店

サービス

金融サービス



食料品製造

フードサービス

ディベロッパー



都市型ミニスーパー

海外

関連会社



「日本を代表する小売グループ」を目指す

あなたと、コンビニに、

FamilyMart



U G H D